

ジョークサロン(2025年8月)「どこの・ど・どいつ」 佐藤俊一

■お題「小さい秋」

- ①草の下そっと隠れて出番を待ってる小さい秋を見つけた
——クサ冠の下に「秋」を隠している「萩」は秋の花の代表です。
- ②秋刀魚が秋の代表だったら 鰯(かじか)は小さい秋だよね

■お題「昆虫」

- ③暑ッ〜という間に秋風吹いてふたり手と手をきりぎりす
- ④甲虫 蜻蛉に蝶々飛蝗もいいが 蠅や蚊までも昆虫かい!
——そう知ると、なんだか虫のいどころ悪くなりそう。(;^_ ^A
- ⑤身の内に骨を持たない昆虫たちは硬い皮膚着てからだ維持
- ⑥硬い皮膚 からだ育つと窮屈だから脱いで捨て去り新調す
- ⑦昆虫にとっても近い生きもの海に 甲殻類の蟹だとさ
- ⑧かぶった角のある牛 刀で裂いて そっと抜け出る虫は蟹
——カニの「蟹」は、解ける字をかぶった虫なんですね。(*_*;
- ⑨人間も「ひと皮むけた」は誉め言葉だよ「ふた皮むけた」らなお宜し
- ⑩人間のひと皮むけたは誉め言葉でも「ひと皮むけば」はろくでなし

■お題「涼」

⑪古代の王 雪や氷を切り出し貯蔵 夏の涼味に氷菓子

^——天然氷に乳・果汁・蜜などを混ぜた今のシャーベットに近い。

⑫アルプスの万年雪をローマに運ばせ氷菓食べてた暴君ネロ

⑬元の皇帝フビライハンも氷菓「舎里八(シャリパ)」がお気に入り

——アラビア圏の氷菓子「シャリバート」のことらしい。

⑭氷菓子 古代世界じゃ心身癒す健康食品だったとさ

⑮古代では氷の菓子は兵を癒して鼓舞するためにふるまわれ

⑯万延元年 幕府使節が米国船でアイスクリンを初体験

——1860 年、日米修好通商条約の批准で渡米した使節団が、船上晩餐会でアイスクリンの供応を受けたのが日本人とアイスとの出会い。

⑰明治初期 庶民の間に流行った隠語はアイスクリーム 何ゆえか!?

⑱出どころは『金色夜叉』の高利貸し アイスクリームと書いたから

⑲氷屋が客の家の戸どんどん叩く「うるさい誰だ!?!」「アイスマン」

——6代目春風亭柳喬の小噺。「相すまん」と「アイスマン」。

■雑

⑳パンダから耳をとったらなんだか怖い洒落にならないしゃれこうベ